

# 保谷小学校

(令和7年度) 通学路における  
点検箇所及び対応の方向性について

| 町名  | 丁目 | 番            |
|-----|----|--------------|
| 泉 町 | 1  | 1~4・15・16    |
|     | 2  | 1~5・17~20    |
|     | 3  | 全域           |
| 中 町 | 1  | 全域           |
|     | 6  | 全域           |
| 富士町 | 1  | 1~4          |
|     | 1  | 1~6          |
| 保谷町 | 5  | 全域           |
|     | 6  | 1~8<br>14~25 |

地点1 泉町2-2付近

道幅が狭く、スピードを出した車両の交通量が多い。  
児童と接触する危険性がある。

- グリーンベルトの設置を検討する。
- 「通学路」を周知する電柱幕を設置する。
- 交差点手前に注意喚起の看板設置を実施した。

地点2 保谷町5-2付近

変則五差路で見通しも悪く、ひばりが丘方面への抜け道として車両の往来も多い。

ガードレールも途切れており横断歩道もないため、児童の交通ルールも守りにくく、交通事故が起きる可能性が高い。

- 横断歩道の設置を田無警察署に依頼する。
- 所管部署にガードレールの延伸等を依頼する。
- 車両に対する注意喚起の看板設置を実施した。

